



2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社メディカルネット
代表者名 代表取締役会長 CEO 平川 大
(コード：3645 東証グロース)
問合せ先 管理本部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐
(TEL. 03-5790-5261)

**2026 年 5 月期の連結業績予想値と実績値との差異及び個別業績の前期実績値との差異、
並びに営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ**

2025 年 7 月 18 日に公表いたしました 2026 年 5 月期の連結業績予想値及び前期実績と、本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2026 年 5 月期当社連結決算において営業外収益及び個別決算において営業外収益を計上することとしたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2026 年 5 月期の通期連結業績予想数値と実績値の差異（2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	6,400	270	233	121	13.15
実 績 値 (B)	6,732	191	269	137	14.96
増 減 額 (B - A)	332	△78	36	16	
増 減 率 (%)	5.2	△29.0	15.8	13.6	
(ご 参 考) 前 期 実 績 (2025 年 5 月期)	6,077	98	134	△68	△7.64

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、医療機関経営支援事業を行っている当社子会社の株式会社オカムラにおいて、歯科器械材料・医薬品の販売が好調に推移したことにより、予想値を上回りました。

営業利益につきましては、医療 BtoB 事業において、新たなサービスとして歯科医師に臨床や経営に関する最新の情報を提供する「Dentwave Prime」の医院プランを開始したことや、歯科関連企業向けのマーケティング支援サービスの受注が好調に推移し増収及び黒字化があったほか、歯科商社事業が大きく増収したものの利益率が低く、利益率の高いメディア・プラットフォーム事業の新メディアは堅調に推移したものの、既存メディアの広告出稿が伸び悩み減収となったため、予想値を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、為替相場の変動に伴い為替差益を計上したことなどにより、予想値を上回りました。

3. 2026年5月期通期個別業績実績値と前期実績値の差異（2025年6月1日～2026年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 値（A）	2,051	147	179	△70	△7.87
当 期 実 績 値（B）	1,923	59	133	79	8.60
増 減 額（B－A）	△127	△88	△46	149	
増 減 率（％）	△6.2	△59.8	△25.8	－	

4. 差異が生じた理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、医療 BtoB 事業において、新たなサービスを開始したことによる増収及び黒字化があった一方、メディア・プラットフォーム事業において、新メディアは堅調に推移したものの、既存メディアの広告出稿が伸び悩んだことに加えて、美容系のポータルサイトを閉鎖したため、前事業年度を下回りました。

当期純利益につきましては、前事業年度に貸倒引当金繰入額 158 百万円及び関係会社株式評価損 60 百万円を計上した一方、当事業年度は貸倒引当金繰入額が少額にとどまり、関係会社株式評価損の計上もなかったことから、前事業年度を上回りました。

5. 営業外収益の計上について

（1）連結決算

為替相場における円安の進行により、当連結会計年度において為替差益 84,916 千円を営業外収益に計上いたしました。この為替差益の変動は、主に当社グループが保有する外貨建金銭債権債務の決済及び評価替えによるものであります。

（2）個別決算

為替相場における円安の進行により、当事業年度において為替差益 77,295 千円を営業外収益に計上いたしました。この為替差益の変動は、主に当社グループが保有する外貨建金銭債権債務の決済及び評価替えによるものであります。

以 上